

Def. Doc. 20/0-A

included

A、荒木貞夫ヨリ内閣總理大臣子爵齋藤實目下宛

昭和九年一月二十日附書簡

B、樞密第貳拾號緊急施策基礎案

右貳通ノ書面中ノAハ昭和九年一月廿日當時病氣
療養中ナリシ荒木陸相ガ病癒ニ於テ口述シ陸軍大
臣秘書官タリシ拙者ニ於テ筆記シ更ニ之ヲ書記ニ
命シテ清書セシメ前年十月中ニ作成セラレ居タル
Bト共ニ陸軍次官柳川平助中將使者トシテ携行シ
齋藤總理大臣ニ提出セラレタルモノノ控ヘニシテ
拙者ニ於テ保存シタルモノナリ
依テ之ヲ證明ス

昭和二十一年八月一日

東京都荏原區西中延五ノ一二二五二

前田正實印

東京府荏原區西中延五ノ一二二五二
前田正實
東京府荏原區西中延五ノ一二二五二
前田正實

Leaf Dec 20/0 - A

荒木第

號證ノA

肅啓 時局重大ノ折柄總理大臣閣下始メ各閣僚
愈々御勇健輔弼ノ大任ニ被爲當候段邦家ノタメ
慶福此ノ事ニ御座候 然ルニ此秋ニ際シ小生病
樽一臥スルニ至リ候事 上御一人ニ對シ奉リ恐
懼ニ堪ヘサルノミナラス輔弼ノ重責ニ任セラル
ル閣下始メ各閣僚並ニ一般同僚ニ對シ申譯無之
慙愧此ノ事ニ御座候病中ハ種々御高配ヲ忝シ難
有衷心ヨリ奉感謝候 幸ニ逐日輕快ニ赴キ昨日
ヨリ漸ク一部ノ面會ヲ許サル、ニ至リ自覺症ト
シテハ何等變異無之日ニ増シ心身ノ恢復ヲ覺エ
候ヘトモ主治醫ノ進言ニ依レバ尙今後四週間ノ
靜養ヲ要ストノ事ニ失望致居リ候次第ニ御座候
然ルニ時局ヲ顧ミレハ内外寸刻モ偷安ヲ許サス
殊ニ今回ノ議會ハ軍事豫算ヲ中心トシ軍部諸問
題極メテ重要性ヲ帶フルモノト覺悟致シ此重要
時局ニ對スル重要議會ト感シ居リ候折柄此情態
ニテハ前半衆議員豫算審議期ニ於テ登院困難ナ
ル事ト相成一ハ輔弼ノ重責ニ對シ一ハ議會ノ重
要性ニ鑑ミ寔ニ贖職ノ憾ニ堪ヘス縱令總理閣僚
並ニ議會其他各方面ヨリノ御同情有之候トモ誠
ニ相濟マサル次第 此際適當ナル後任者ヲ推薦

Leaf 200 20/0-A

2

シ以テ輔弼ノ重要ヲ明ニスルコトハ此重要時局
ニ際スル重要議會ニ對シ 其道ト相信シ申候ニ
ツキ任ケテ現官拜辭ノ儀御同意御執奏方御取計
ヒ被下様切ニ御願申上候

高橋藏相 山本内相ノ如ク老體ヲ提ケ病體ヲ押
シ日夜回務ニ盡瘁セラル、ニ對シ實ニ申譯無之
萬請仕候又犬養内閣以來二年余席ヲ同シクセル
關係ニ對シテハ元ヨリ現内閣ノ班ニ列シ一年有
半相共ニ請難問ニ就キ御後接被下候各關係ニ對
シ茲ニ深ク謝意ヲ表シ併セテ將來ノ御健固ヲ祈
リ上候

尙執々内外ノ情勢ヲ顧ルニ各々夫々ノ御判断ハ
有之事ト存候ヘトモ小生ノ觀察スル所ニ於テハ
單ニ字句的ノ非常時局若クハ重大時局ト申スニ
止マラス眞ニ邦家與陸ノ最モ重要ナル時局ト深
ク確信罷在候次第世上或ハ危機アリトカ無シト
カ種々ノ觀察モ有之候ヘトモ國家ノ重大事ハ決
シテ明日ヲ豫測シ得ヘカラサルモノト相信シ未
然ニ其覺悟ト其準備トヲ整ヘ以テ邦家ノ不祥事
ヲ避ケ與陸ノ基礎ヲ定ムル事ハ何レノ時代ニ於
テモ必要ト存シ候 此ノ意味ニ於テ今日ハ決シ
テ偷安ヲ許スヘキニ無之ト痛感致シ申候自家ノ
與廠ハ常ニ難キヲ見テ之ヲ避ケ自ラ安シト感ム

Def Sec 20/0-A

ル所ニ其危機ヲ孕ムモノニテ古今ノ歴史ハ明ニ
之ヲ示シ居ル様寡同ナカラ承知致居候 今ヤ實
ニ目ニ見エサル難局ノ前途ニ横ハルモノアルハ
決シテ作爲的ニ考へ或ハ事ヲ好ムタメニ考へラ
ル、ニアラスシテ今日コソ邦家興隆ノ上ニ學國
一致ヲ求ムヘキ重要ナル秋ト存シ候 之ニ就キ
テカネガネ断片的ニ開陳致シ五相會議ニ於テモ
既ニ所信開示致シ候ヘトモ此際特ニ其切要ナル
ヲ痛感致候ニ付キ重複ナカラ更メテ茲ニ別冊ヲ
以テ提議仕候條何卒邦家ノ前途ニ對シ充分御洞
察ノ上御實行方切願致候 尙國際問題ニ就テハ
軍部ニ對シ世上一部ニ於テ危惧ノ誤傳有之ヤニ
仄聞致候へ共思想的國體觀ノ相容ルヘカニザル
モノニ對シテハ固ヨリ確固タル國體信念ノ上ニ
其態度ヲ控ケ來ラス今日モ尙不知ニ候へ共實ハ
乍不及國際情勢ヲ大觀シ關係當局ト稟審ナル運
籌ヲ保持シ列強ニ對シ、諒ユヘキハ諒へ以テ我
力建國精神ヲ立國ノ本義現下ノ國是等ニ就テ時
機アル毎ニ説明シ陰ニ陽ニ友邦ヲ求メ國際孤立
ヲ避ケツ、我國國際信用特ニ其位置ノ向上ニ微力
ヲ致シタル次第 今後益々外務軍部ノ密接ナル
協力一致ノ下ニ我國國際關係ノ優位ヲ保持シツ、
我正當ナル主張ノ貫徹ニ努力セラレン事ヲ希フ

Leaf Loc 2010-A

次第ニ有之候
以上床臥中其意ヲ盡サス微意ノ存スル所御諒承
ノ上御採擇願上候

尙申述度コトモ有之候ヘトモ病中根柢ヲ缺キ之
ニテ失禮仕候 尙臥床中ノ儀ニツキ代筆御宥免
被下度候終ニ臨ミ今日迄ノ御懇篤ナル御指導ニ
ツキ總理以下各關係ニ對シ深ク御禮申上候 時
節柄折角御自重弱ノ大任ヲ盡サレン事切ニ祈
上候

書外健康恢復ノ上拜風萬歳可申上候
何卒關係各位へ可然御禮聲賜度願上候

敬 白

昭和九年一月廿日

荒 木 貞 夫

内閣總理大臣子爵齋藤實閣下

玉 案 下